

## 東日本大震災のPCB廃棄物への影響について

(平成23年10月31日調査時点)

平成23年12月  
環境省産業廃棄物課

東日本大震災による保管していたPCB廃棄物への影響について関係県市が確認しているところですが、津波により流出した等でトランス・コンデンサが保管場所がないことが平成23年10月31日時点までに確認された台数(流出台数)は下表のとおりです。また、この他に機器が破損して、PCBが漏えいした保管場所が宮城県内で2件確認されています。

### トランス

	保管されていた台数	流出台数	左欄のうち高濃度
青森県	569	1	1
岩手県	726	8	0
宮城県	750	31	0
福島県	1,450	1	0
合計	3,495	40	1

### コンデンサ

	保管されていた台数	流出台数	左欄のうち高濃度
青森県	5,059	0	0
岩手県	4,010	28	10
宮城県	16,758	121	32
福島県	11,825	8	5
合計	37,652	157	47

環境省では、環境への影響を把握すべく、土壌や海洋等の環境モニタリングにおいて、PCBの環境中濃度についても調査を行っています。現時点で、海洋、土壌、公共用水域、地下水について、環境基準等を超過した地点はありません。詳しくは、環境省ウェブサイト「東日本大震災への対応」の「東日本大震災の被災地における環境モニタリング調査について」をご参照ください。